

政策番号	7	政策分野	スポーツ
------	---	------	------

基本方針	「だれもが、いつでも、どこでも、いろんなかたちでスポーツやレクリエーションに親しめる環境を、みんなで支え合うまちづくり」を関係団体（地域のスポーツボランティア団体、競技団体、学校、企業など）や指定管理者と行政が一体となって進める。そのことにより、市民ひとりひとりがスポーツやレクリエーションそのものを楽しむことはもちろん、健康や感動など市民生活に豊かさをもたらすとともに、環境、教育、観光、経済などさまざまな分野の京都のまちづくりをより魅力あるものにする。
------	--

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

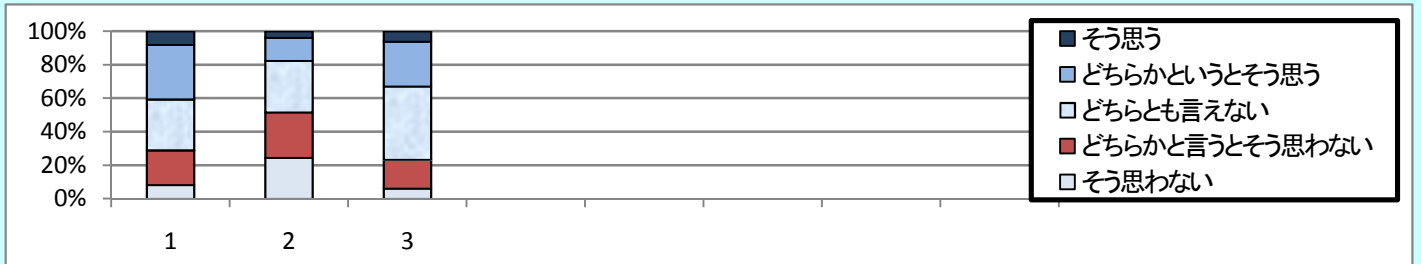
政策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	年 度	年 度	23年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合(%)	-	65	-	-	-	48.4	-	-	-
2	市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合(%)	-	30%以上	-	-	-	24.4	-	-	-
3	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合(%)	-	10	-	-	-	3.1	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価										-

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		年度	年度	23年度
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	-	-	c
2	プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	-	-	d
3	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	-	-	c
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価				c



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

年度		年度		23年度	
順位	%	順位	%	順位	%
-	-	-	-	25	6.7%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている	年度	-
【客観指標】・すべて平成22年度から新たに調査を始めたものであるため、次回から実績を踏まえて目標値を設定し、評価を行う。		年度	-
【市民の実感】・運動の機会やスポーツボランティアの活動状況と比べて、プロスポーツやトップレベルのスポーツに接する機会に関する設問に対し、否定的な回答が多い。京都には地域密着型プロスポーツが3チーム(プロサッカー「京都サンガF.C.」、プロバスケットボール「京都ハンナリーズ」、女子プロ野球「京都アストドリームズ」)があるが、直接観戦した市民は約4分の1という平成22年の調査結果があり、市民がプロスポーツを支える気運を高めていく余地がうかがわれる。		年度	-

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照 ページ
				23	
0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり(「するスポーツ」)	-	-	C	97
0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり(「みるスポーツ」)	-	-	C	99
0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり(「支えるスポーツ」)	-	-	C	101

<今後の方向性>

- ・平成23年3月に策定した「京都市市民スポーツ振興計画」に基づき、市民のスポーツ活動に応じた施設の充実、誰もが利用できるスポーツ情報網の整備等を図ることとしている。
- ・平成23年1月に「京都スポーツの殿堂」を創設し、京都ゆかりのトップアスリートの力で市民スポーツの振興等を図ることとしている。
- ・平成23年度から京都マラソンを開催し、世界を魅了するスポーツイベントを目指すこととしている。

政策名	7	スポーツ										
指標名	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合（％）											
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6－0 1 6 8									
1 指標の説明												
週1回以上運動やスポーツをする市民の割合												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
「するスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間に週1回以上運動やスポーツをしたことがあると回答した市民の割合										
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	-	65	京都市市民スポーツ振興計画									
	前回数値 年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	-	48.4		-	22年度現況値と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出	-						
	全国順位	中長期目標			備考	22年度から新たにアンケートを実施したことから、今回は実績を踏まえた目標値の設定ができないため、評価は次年度から行う。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td></td><td></td><td>23</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>					23	-	-	-
		23										
-	-	-										

指標名	市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合（％）											
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6－0 1 6 8									
1 指標の説明												
市内でプロスポーツやトップスポーツを直接観戦した市民の割合												
2 指標の意味		3 算出方法・出典等										
トップレベルのスポーツに身近に触れられ、「みるスポーツ」をいろんな形で楽しめる環境が作られていることを示す指標		算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にプロスポーツやトップスポーツを直接観戦したことがあると回答した市民の割合 出典：事業担当課調べ										
4 数値												
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠									
	-	30%以上	京都市市民スポーツ振興計画									
	前回数値 年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	-	24.4		-	22年度現況値と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出	-						
	全国順位	中長期目標			備考	22年度から新たにアンケートを実施したことから、今回は実績を踏まえた目標値の設定ができないため、評価は次年度から行う。						
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値												
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果								
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		当該指標については、目標達成以上をa，以下を20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td></td><td></td><td>23</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>					23	-	-	-
		23										
-	-	-										

政策名	7	スポーツ					
指標名	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合（％）						
担当部室	市民スポーツ振興室	連絡先	3 6 6－0 1 6 9				
1 指標の説明							
スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
市民の間で多様なスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標（支えるスポーツ）		算出方法：20歳以上の市民3,000人を対象としたアンケートで1年間にスポーツ活動に運営ボランティアとして参加したことがあると回答した市民の割合					
4 数値							
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	-	10.0	京都市市民スポーツ振興計画				
	前回数値 年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	-	3.1		-	22年度現況値と32年度目標値から当該年度達成すべき数字を等比的に算出	-	
	全国順位	中長期目標			備考	22年度から新たにアンケートを実施したことから、今回は実績を踏まえた目標値の設定ができないため、評価は次年度から行う。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果			
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満		当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。				23	
				-	-	-	